

三重県家庭教育の充実に向けた応援戦略（仮称）最終案の特徴

1 記述内容の特徴

(1) 基本的な生活習慣の確立に向けた取組の推進

子どもの習慣づくりについて、「取組方策」の一つに掲げるとともに、「家庭教育応援プロジェクト」でも取り上げるなど、積極的な位置づけを行いました。特に、食事、運動、睡眠、読書、歯磨きなど各家庭における子どもの基本的な生活習慣づくりが進むよう、PTAや市町等とも連携して取り組むこととしています。

(2) 「地域のネットワークによる支援」の促進

孤立しがちな家庭に対する見守りや居場所づくり、訪問型支援（アウトリーチ）を行う仕組みとして、関係機関・専門人材等と連携した「地域のネットワークによる支援」を位置づけ、市町と連携して取り組むこととしました。

今後、市町の状況にあわせて、まちづくり協議会、地域包括ケアシステム、学校支援地域本部など既存のネットワークを活かし取組を進めます。

(3) 企業との連携による取組の推進

家庭教育応援の取組を進めるにあたり、企業との連携を強める方向をめざすことを明記しました。企業の理解を十分に得て、社会意識の変革や気運づくり、学びの場の提供などの取組に参画いただくよう、積極的に働きかけていくこととしています。

2 構成の特徴

(1) 基本理念

「子どもの最善の利益を尊重すること」、「保護者の元気や意欲を重視すること」、「家庭の自主性を尊重すること」、「社会全体で進めること」を基本理念として整理し、明確に位置づけました。

(2) 推進のポイント

取組方策の記述項目の中に「推進のポイント」を設け、推進上の手順や重視する点、特に留意すべき事項などを記述することにより、計画全体の戦略性を高めるよう努めました。

(3) 基本的な取組と発展的な取組

具体的な取組の記述にあたっては、早期に講じるべき「基本的な取組」と、中期的・発展的な観点から講じることが望ましい「発展的な取組」に区分し、取組の優先度を明示しました。

(4) 家庭教育応援プロジェクト

複数の取組を相互に連携・補完させ課題解決の促進を図る、3つの「家庭教育応援プロジェクト」を位置づけ、横断的・総合的な取組として展開していくこととしました。